

2018年3月期

第3四半期決算説明資料

2018年2月2日

株式会社 **ダイセル**

目 次

2018年3月期第3四半期 業績

- ・業績概要
- ・連結損益計算書
- ・セグメント別 売上高・営業利益

P 3 ~ P 5

セグメント情報

P 6 ~ P 9

参考資料

- ・連結貸借対照表
- ・セグメント別 売上高・営業利益（四半期推移）
- ・設備投資額／減価償却費／研究開発費 推移
- ・通期業績予想
- ・株主還元の様態

P 10 ~ P 15

(単位：億円)

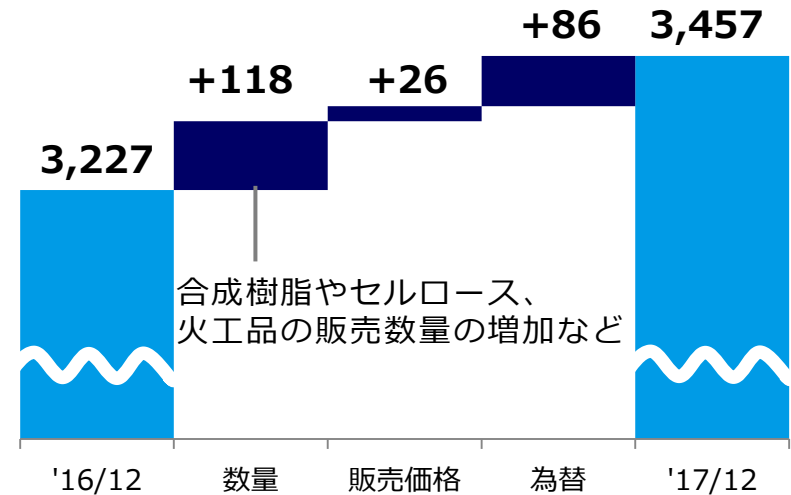
	2017年3月期 第3四半期	2018年3月期 第3四半期	増減	増減率
売上高	3,227	3,457	+230	+7.1%
営業利益	481	461	△20	△4.1%
経常利益	495	491	△4	△0.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	323	285	△38	△11.8%
為替レート(USD/JPY)	107 円	112 円		

- 合成樹脂やセルロース、火工品の販売数量が増加したことなどにより、増収。
- 営業利益は、原燃料調達価格の上昇や、減価償却費の増加、大竹工場の火災事故の影響などにより、減益。

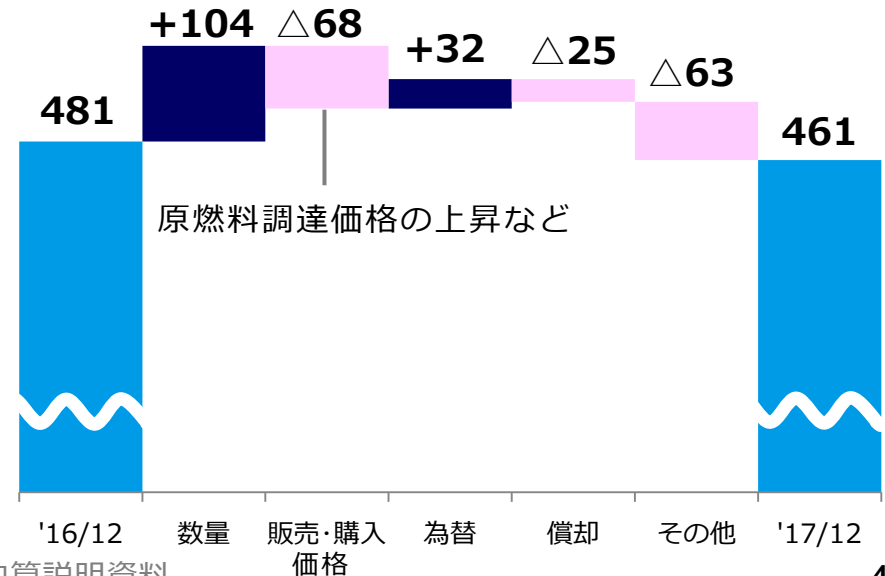
連結損益計算書

	(単位：億円)			
	2017年3月期 第3四半期	2018年3月期 第3四半期	増減	増減率
売上高	3,227	3,457	+230	+7.1%
売上総利益	1,008	1,038	+30	+3.0%
販売費及び 一般管理費	527	576	+50	+9.4%
営業利益	481	461	△ 20	△ 4.1%
営業外損益	14	30	+16	+114.3%
経常利益	495	491	△ 4	△ 0.8%
特別損益	8	△ 29	△ 37	-
税金等調整前 四半期純利益	503	462	△ 41	△ 8.2%
法人税等	126	121	△ 5	△ 3.7%
非支配株主に帰属する 四半期純利益	54	56	+2	+3.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	323	285	△ 38	△ 11.8%
為替レート(USD/JPY)	107 円	112 円		

■ 売上高 前年同期比較



■ 営業利益 前年同期比較

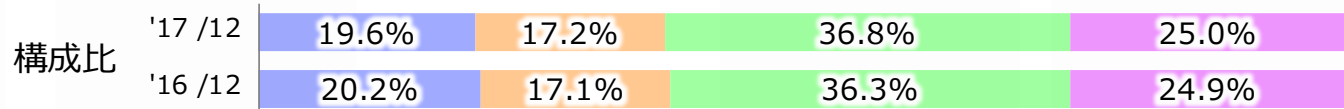


セグメント別 売上高・営業利益

■売上高

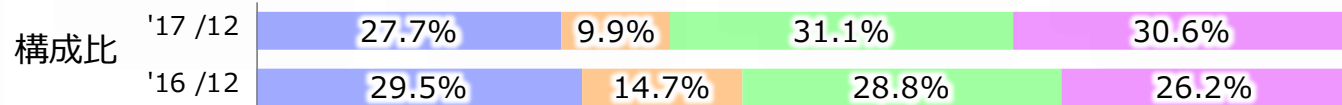
(単位：億円)

	2017年3月期 第3四半期	2018年3月期 第3四半期	増減	増減率	分 析	
					数量差	単価差
セルロース	652	679	+27	+4.1%	+41	△ 15
有機合成	553	596	+43	+7.7%	+2	+41
合成樹脂	1,172	1,272	+100	+8.5%	+55	+45
火 工 品	805	865	+60	+7.4%	+19	+41
そ の 他	45	46	+1	+1.6%	+1	
合 計	3,227	3,457	+230	+7.1%	+118	112



■営業利益

	2017年3月期 第3四半期	2018年3月期 第3四半期	増減	増減率	分 析		
					数量影響	価格影響	その他
セルロース	171	157	△14	△8.2%	+22	△ 29	△ 7
有機合成	85	56	△29	△34.4%	+4	+4	△ 37
合成樹脂	167	176	+9	+5.5%	+37	△ 12	△ 16
火 工 品	152	173	+22	+14.2%	+43	0	△ 21
そ の 他	5	4	△1	△19.9%	△ 1		
全 社	△98	△105	△6	△6.3%			△ 6
合 計	481	461	△20	△4.1%	+104	△ 36	△ 88



売上高 + 27 億円 (為替影響 + 23 億円)

◆酢酸セルロース：

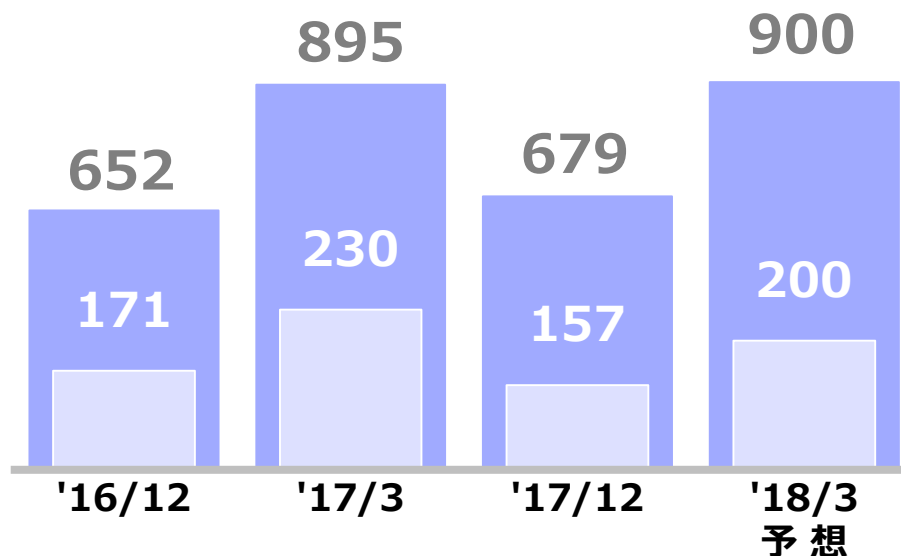
液晶表示向けフィルム用途が減少したものの、その他用途が増加したことなどにより、横這い。

◆たばこフィルター用トウ：

世界的な需給の緩みによる市況軟化の影響を受けたものの、主要顧客との関係強化や新規顧客開拓による販売数量の増加、為替の影響などにより、増収。

営業利益 △ 14 億円

たばこフィルター用トウが市況軟化の影響を受けたことや、原燃料価格の上昇などにより、減益。

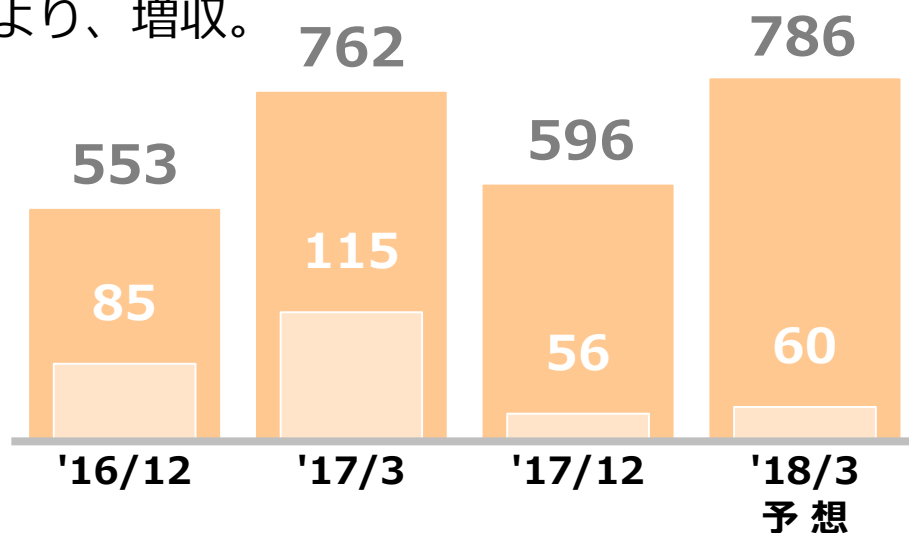


売上高 + 43 億円 (為替影響 + 8 億円)

- ◆酢酸：網干工場で2年に1度の定期修繕を実施したことにより販売数量が減少したものの、市況の上昇などにより、増収。
- ◆合成品：販売数量の増加などにより、増収。
- ◆機能品：大竹工場の過酢酸製造プラントにて発生した火災事故の影響で過酢酸誘導体の販売数量が減少したものの、その他製品の電子材料分野への販売数量が増加したことなどにより、横這い。
- ◆キラル分離事業：カラムや充填剤の販売が増加したことや、インドでの新規事業が伸びたことなどにより、増収。

営業利益 △ 29 億円

原燃料調達価格の上昇や、研究開発費、減価償却費の増加などにより、減益。



売上高 + 100 億円 (為替影響 + 31 億円)

◆エンジニアリングプラスチック事業：

自動車部品およびスマートフォンの需要増加、ならびに新規採用が進んだことによる販売数量の増加や、為替の影響などにより、増収。

◆樹脂コンパウンド事業：

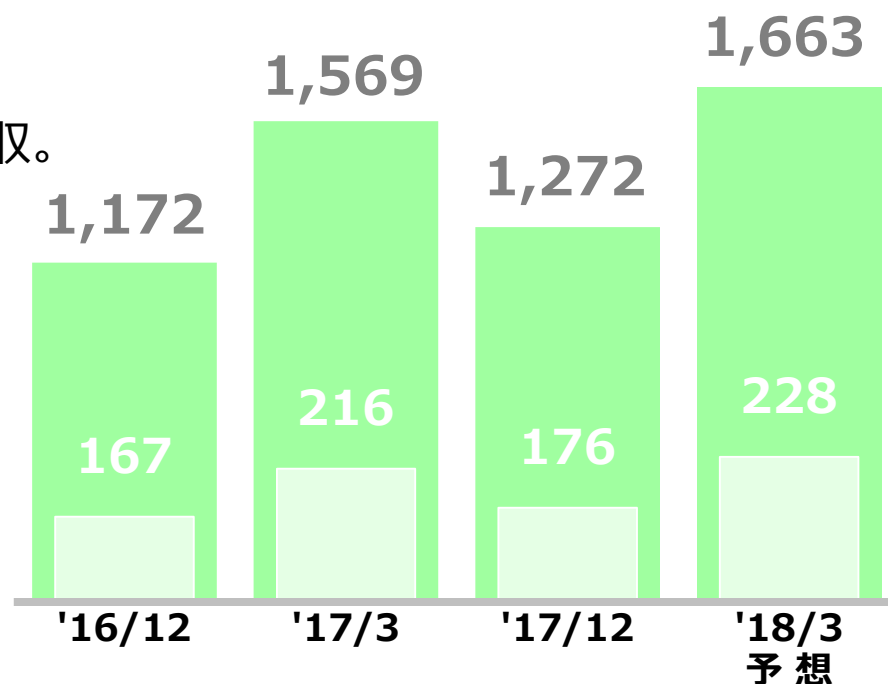
原燃料価格上昇に伴う販売価格の改定や為替の影響などにより、増収。

◆樹脂加工事業：

シートの販売が減少したことにより、減収。

営業利益 + 9 億円

原燃料調達価格上昇の影響があったものの、販売数量の増加などにより、増益。



売上高 + 60 億円 (為替影響 + 24 億円)

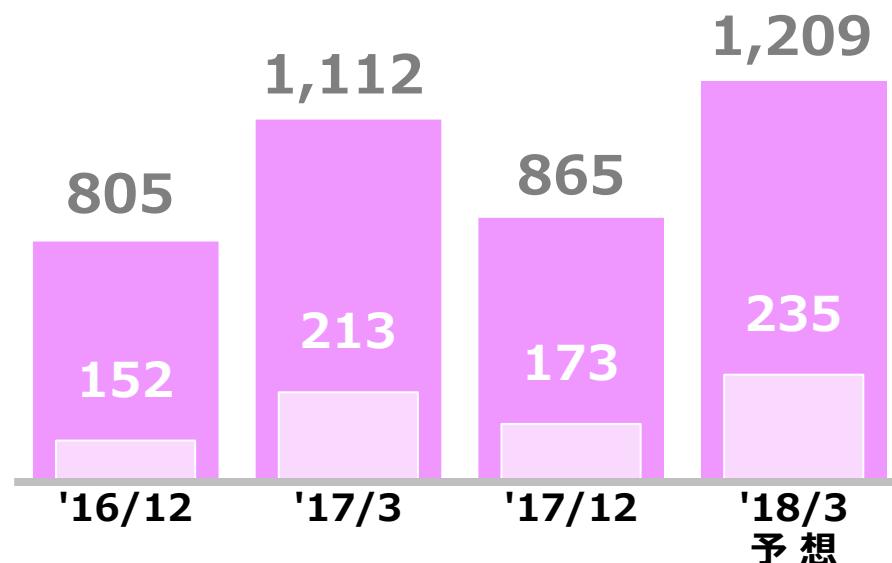
◆自動車安全部品事業：

インフレータの販売数量増加や為替の影響などにより、増収。

◆特機事業：一部製品の防衛省による調達数量減少により、減収。

営業利益 + 22 億円

販売数量の増加などにより、増益。



参考資料

連結貸借対照表

(単位：億円)

	2017年 3月末	2017年 12月末	増減	備考
流動資産	3,072	3,470	+397	
現預金及び有価証券	969	1,212	+243	
受取手形及び売掛金	883	958	+75	
棚卸資産	1,007	1,077	+70	
その他	213	223	+9	
固定資産	2,925	3,055	+130	
有形固定資産	1,852	1,891	+39	取得+238、償却△222、為替換算差+26、除却△3
無形固定資産	96	93	△4	
投資その他資産	977	1,072	+95	投資有価証券+102
資産合計	5,997	6,525	+527	
負債	2,003	2,362	+359	
有利子負債	723	1,064	+341	社債+300、有利子負債比率 16.3%
その他	1,280	1,298	+18	
純資産	3,994	4,163	+168	自己資本比率 59.6%
負債純資産 合計	5,997	6,525	+527	

セグメント別 売上高・営業利益（四半期推移）



（単位：億円）

	2017年3月期				2018年3月期		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期
売上高	1,037	1,061	1,129	1,173	1,123	1,168	1,167
セルロース	223	212	218	243	221	229	228
有機合成	190	175	188	209	196	195	205
合成樹脂	379	385	408	398	412	425	434
火工品	233	274	299	307	280	301	284
その他	13	16	17	17	13	17	16
営業利益	172	134	175	162	158	157	146
セルロース	64	53	54	59	55	55	47
有機合成	35	22	28	30	21	15	20
合成樹脂	63	50	54	48	57	64	55
火工品	41	44	67	61	60	56	57
その他	1	2	2	2	0	2	1
全社	△32	△37	△30	△40	△36	△36	△32

設備投資額／減価償却費／研究開発費 推移

注：2017年11月1日発表値。第3四半期決算時点での見直しは行っておりません。

(単位：億円)

設備投資額	'14/3	'15/3	'16/3	'17/3	'18/3 (計画)
セルロース	71	149	135	83	66
有機合成	38	64	58	92	71
合成樹脂	101	23	43	51	57
火工品	37	62	151	126	176
その他・全社	9	9	16	43	30
合計	256	306	403	395	400

減価償却費	'14/3	'15/3	'16/3	'17/3	'18/3 (計画)
セルロース	76	62	67	93	93
有機合成	49	45	44	54	70
合成樹脂	51	63	56	50	53
火工品	52	53	59	79	87
その他・全社	8	12	13	14	17
合計	237	234	239	290	320

研究開発費	'14/3	'15/3	'16/3	'17/3	'18/3 (計画)
合計	134	140	153	168	199

通期業績予想

注：2017年11月1日発表値。第3四半期決算時点での見直しは行っておりません。

(単位：億円)

	2017年3月期実績			2018年3月期予想			年間 増減
	上期	下期	合計	上期実績	下期予想	合計	
売上高	2,098	2,303	4,401	2,290	2,330	4,620	+219
セルロース	435	460	895	451	449	900	+5
有機合成	365	397	762	391	395	786	+24
合成樹脂	763	806	1,569	837	826	1,663	+94
火工品	506	606	1,112	581	628	1,209	+97
その他	29	34	62	30	32	62	△0
営業利益	306	337	643	315	270	585	△58
セルロース	117	113	230	110	90	200	△30
有機合成	57	58	115	36	24	60	△55
合成樹脂	113	103	216	121	107	228	+12
火工品	85	128	213	116	119	235	+22
その他	3	4	7	3	4	7	△0
全社	△68	△70	△138	△72	△73	△145	△7
経常利益	295	367	662	331	279	610	△52
親会社株主に帰属する 当期純利益	191	241	432	196	174	370	△62
為替レート (USD/JPY)	105 円	111 円	109 円	111 円	110 円	111 円	

※予想前提条件：メタノール USD290/ton、原油 USD52/bbl、国産ナフサ 38,000円/kl

注：第3四半期決算時点での期末配当予想の見直しは行っておりません。

中間配当	1株につき16円
期末配当予想	1株につき16円
年間配当予想	1株につき32円

750万株、100億円の自己株式取得を実施
(取得期間：2017年8月～2018年1月)

**2018年3月期の配当性向は、
中期計画3D-Ⅲで目標としている30%となる見通し**

※ 配当性向の見通しは、2017年11月1日発表の業績予想から算出

予測に関する注意事項

- 本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。
- ご使用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

本資料の著作権は株式会社ダイセルに帰属します。いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。

株式会社ダイセル

